

とうほく自動車産業集積連携会議 令和5年度事業計画

「とうほく」（東北6県及び新潟県）は、「とうほく自動車関連産業振興ビジョン～とうほく自動車関連産業の持続的成長へ～」に基づき、7県の産学官が一層連携し、以下の事業について重点的に取り組む。

戦略Ⅰ 幅広い分野の企業集積

自動車関連企業の進出・地域定着と地場企業の参入を進め、幅広い分野の関連企業の集積を促進する。

1 関連企業の進出促進

- (1) 東北へのさらなる自動車産業集積、拠点機能の強化に向け、自動車メーカー等へのトップセールスを実施
- (2) 「東北の自動車関連企業マップ（東北経済産業局発行）」等を活用し、商談会等の場において、企業集積の状況についてPRを強化

2 地場企業の参入促進

- (1) 東北の地場企業の技術力を自動車メーカー・グループ等に対してアピールする商談機会等の提供

ア 名称：とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会

イ 期日：令和6年1月25日（木）～26日（金）

※ 1月24日（水）は会場設営等の事前準備及び出展者同士の内覧会を行う。

※ 2か月前から、特設WEBサイトを設置する。

ウ 場所：トヨタ自動車㈱本館ホール

- (2) 当連携会議及び各県協議会のホームページ等を通じ、生産工程改善指導や、各種支援施策に関する情報の発信
- (3) 各県アドバイザー等による、域内の企業等を対象とした個別技術指導の実施

3 企業間交流・連携の促進

- (1) とうほく自動車産業集積連携会議 幹事会

ア 期日：令和5年6月15日（木）

イ 内容：総会提出議案（令和5年度活動方針等）の審議

- (2) 総会の開催

ア 期日：令和5年7月12日（水）

イ 内容：提出議案（令和5年度活動方針等）の審議

- (3) 講演会の開催

ア 期日：令和5年7月12日（水）

イ 演題：「CASE革命に対応するアイシンの取組と東北の位置付け」

ウ 講師：株式会社アイシン

シニアエクゼクティブアドバイザー 伊勢 清貴 様

エ 場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング（盛岡市）

- (4) 北海道自動車産業集積促進協議会との相互交流、事業等を促進

- (5) 企業見学・企業の情報交換など企業間連携を図る機会の創出
- (6) 商談会・交流会等を通じ、地域内企業同士の交流・連携の促進
- (7) 域外の機関が主催するイベント等への協力及び情報提供

戦略Ⅱ 競争力のある生産拠点

設計開発機能の強化や生産技術力の高度化・生産準備力の強化などを推進し、競争力のある車両・部品の生産を促進する。

1 設計開発機能の強化

自動車部品等への理解促進を目的としたセミナー・勉強会等の開催及び各県協議会等が開催する各種セミナー等への相互参加

2 生産技術力・準備力の強化

各県の自動車関連アドバイザーや産業支援機関等による企業の掘り起し、商談会後の取引に向けたフォローアップ等の実施

3 生産体制の強化

カーボンニュートラルやDXをテーマとするセミナー等の開催及び相互参加

4 提案力の強化

各県アドバイザー等による助言及び商談会へ向けた研修の実施等

戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点

次世代を担う自動車に求められる技術の研究開発を促進するとともに、製品化・実用化を意識した取組を推進する。

1 次世代自動車の生産を支える技術の開発

広域的な産学官連携によるEVやFCVなどの環境対応や自動運転といった次世代を担う自動車に求められる技術に関する研究開発の促進

2 研究開発の実用化

地域企業の展示会・商談会への出展等による研究開発成果のPR等の促進

3 県境を越えた公設試による連携の強化

技術の高度化等を目的とした、各県公設試による広域連携での研究開発の推進

戦略Ⅳ 人材の育成・定着・確保

産学官が連携し、高度化・多様化する自動車産業において求められる知識や技能を有する人材の育成・定着を促進するとともに、東北全体で安定した人材を確保する。

1 企業ニーズに応じた人材の育成・確保・定着

- (1) 各県人材育成プログラムの情報共有・相互参加
- (2) 自動車メーカーやサプライヤー等と連携した人材育成

2 東北全体での安定した人材確保

各県の奨学金返還支援制度等の周知・活用

3 就学段階からの高度ものづくり人材育成

各県及び支援機関等による小中高校生を対象としたものづくり体験の実施等